

# やすらぎ通信

第 39 号 (平成 26 年 2 月 1 日) 発行：大阪府立急性期・総合医療センター

## 如月(きさらぎ)

### 遠き山に日は落ちて

作曲 アントニン・ドヴォルザーク 作詞 堀内敬三

遠き山に 日は落ちて  
星は空を ちりばめぬ  
きょうのわざを なし終えて  
心軽く 安らえば  
風は涼し この夕べ  
いざや 楽しき まどいせん  
まどいせん

やみに燃えし かがり火は  
炎今は 鎮(しず)まりて  
眠れ安く いこえよと  
さそうごとく 消えゆけば  
安き御手(みて)に 守られて  
いざや 楽しき 夢を見ん  
夢を見ん

早いもので今年ももう一か月が過ぎ去り2月になりました。昔から1月は去（い）ぬ、2月は逃（に）げる、3月は去（さ）るとはうまくいったもので新年が明けるとあっという間に時間が過ぎて今度は年度末というもうひとつの区切りにむかって時間がばく進しているような感じがします。

さて2月の和名は「如月（きさらぎ）」ですが、これは寒くなり衣料をさらに重ねて着る“衣更着（きぬさらぎ）”から来たという説があるようで、大寒を過ぎたとはいえこの最も寒い時期を、昔は暖房装置もほとんどなく衣類の重ね着に暖を頼るしか無かったことは容易に想像できます。当節は暖房も様々な方法が普及し、私たちはかなり快適に冬の寒さを過ごすことが出来るようになりました。しかしそのいずれの方法もエネルギーを莫大に消費することにより得ることのできる暖かさです。自然エネルギーのうちクリーンを特徴とする太陽光発電や風力発電もその発電コストはまだまだ高く、そのことはすなわち製造や維持にかかる経費が高くその過程で多くのエネルギーが消費されていると考えられます。

その点、重ね着はまさに古典的暖房術ですがほどほどの価格で一度手に入れば、あとは特別な装置もなしに自分の体から出すエネルギーで温かく過ごすことが出来ます。そのうえ最近、機能性の高い下着が開発され薄くてもぼかぼかする優れモノがいろいろなところから発売されています。着膨れという欠点も少なくなってきたこの重ね着による暖房法、ますます発達、普及することにより地球の資源も“衣更着（きぬさらぎ）”という言葉も次の世代に残って行って欲しいものです。

今月の「季節のことば 36 選」には、「節分、バレンタインデー、春一番」が選ばれています。節分は、季節の分かれ目の意味で、元々は「立春」や「立夏」などの前日のことを指していたものが、特に冬から春になるこの時期を一年の境として現在の大みそかのように考えられたため特定化されたものだそうです。

この立春の節分の際に豆をまく「豆まき」は、昔中国から伝わった疫病などをもたらす悪い鬼を追い払う儀式から来ており一般的には炒った大豆を使ってまきます。昔から「豆まき」は親しまれてきた行事で、今でも小さいお子さんなどがいらっしゃるお宅では時にはお父さんが鬼役に化けて的となる楽しい家庭的な年中行事の感もあります。

なお、近年、節分の時に「巻きずしのまるかぶり」が突然、発祥の地大阪船場から拡大し全国的な節分の風習になりつつあります。2月は商売的にも厳しい時期といわれている折、風習と出費の関係が明確でないまま結びつくことは同じ2月の行事であるバレンタインデーのチョコレートの例もあります。そのアイデアに感心するとともに重ね着でエネルギー出費が抑えられた分でささやかに参加してみるのも新しい季節感を味合ううえで楽しく、あながち無駄使いとは言えないかもしれません。



喫茶室

11月のやすらぎ通信にノーベル賞のことを記載しましたが、今回はもうひとつのノーベル賞の話をご存知でしょうか。この賞は人を笑わせ、考えさせる研究や業績に対して贈られる賞で本家のノーベル賞のパロディ版とも言えますが結構世界的な権威(?)があり、授賞式が毎年米ハーバード大学で行われ発表時にはマスコミの話題にもなります。

このイグ・ノーベル賞の昨年の受賞者に二つの部門で日本人が選ばれています。そのうちの医学賞は帝京大学医学部の新見正則准教授らが音楽の面白い効果を実験で発見したことによるものです。その効果とは、マウスの腹に別のマウスの心臓を移植するとその心臓は拒絶反応によって8日後には止まるが、手術後にベルディのオペラ「椿姫」を聴かせると平均26.5日も移植された心臓は動き続けたというものです。また、モーツァルトを聴かせてみるとこれも平均20日ほど動いていたようで、鼓膜を壊すと効果はないため名曲の美しい調べが脳を介して免疫作用に影響を与えたということだそうです。

このことが果たして人間にも当てはまるのかどうかはわかりませんが、少なくとも心を癒す音楽をはじめとした芸術には人の傷んだ身体を回復させる力があるように思えます。同じような話としては落語や漫才を楽しみ大いに笑うことで免疫力が活性化するという説もあります。

私たちの体は医学が進歩した今でもまだまだ分からないことがたくさんあります。しかし、美しいものを見たり、楽しい話を聴いたりすると何故か元気になることは、多くの方が経験されているのではないのでしょうか。病は気からとも言われますが、いつまでも元気であることや病気になる時に早く回復するためには、体力づくりや医学による物理的な処置とともに精神的な充足も大きな役割を果たすことが否定できないように思えます。

ちなみに、イグ・ノーベル賞の授賞式ではマウスの格好をした共同研究者らがオペラを歌う隣で受賞スピーチが行われ大いに会場は沸いたそうです。音楽や笑いにあふれさぞや研究者も観客も元気をいっぱい貰われたのではないかとつい想像したくなります。

もっとも、楽しいことや美しいものに触れることはただ待っているだけではなかなか訪れないかもしれません。自らが動いて人と話すことやちょっと遠くでも出かけてみたりすることによって多くの機会を得ることが出来ます。その行動する力がまた元気を生み出すとも言えるでしょう。寒さ厳しいこの時期ですが重ね着をしてでもちょっとお出かけされてはどうでしょうか。

当センターでも、ささやかな取り組みですが毎月のように音楽コンサートや落語、ギャラリーでの美術品の展示を行っています。このうち相愛大学との連携によるコンサートは先月の開催で30回を数え、万代・夢寄席は今月の開催で20回を迎えることとなりました。当センターに治療に来られる方も地域の方々も、ぜひこれら行事にお越しいただき元気の素を吸収していただければと願っております。

## お便り

### 「ふれあい病院探検隊」を開催しました ～事務局総務・人事グループ～

冬空の厳しい冷え込みとなった1月12日(日)の朝、病院で働く医療職の仕事に興味を持つ高校生たちが、厚いコートを着込んだいでたちで続々と当センターへやって来ました。これから進路を決めようとする高校1・2年生たちに当センターが提供する医療内容を実際に体験してもらうことで、今後彼らが医療の世界で働く動機付けとってもらうための企画「ふれあい病院探検隊」の始まりです。

今年用意したのは42企画。当センターの各診療科や薬局、リハビリセンター、臨床検査室などに勤務するあらゆる職種の職員269名がボランティアで休日返上して企画した職業体験に434人もの高校生が取り組みました。

高校生たちは、屋上ヘリポートに飛来するドクターヘリを見て歓声を上げたり、吉岡院長と病院で働く意義について熱心に語り合うなど、当センターだからこそ提供できた有意義な体験の数々を一日かけて楽しむことが出来たようです。終了後、彼らからいただいたアンケートには体験により得られた感動がいっぱいに込められていました。

## NEWS

### 【(新)～地域の医療機関の皆様へ～ 心臓血管センター不整脈科 開設のお知らせ】

不整脈に関する研究はこの10年間で飛躍的に進み、カテーテルアブレーションや心臓植え込みデバイスと言った不整脈を取り巻く医療機器も著しく進歩しております。こうした専門的な治療を提供するため、このたび心臓血管センターに新たに不整脈科を開設いたしました。心臓内科や心臓血管外科と密な連携を図りながらこれまで以上によりよい医療を提供させていただきます。

### 頻拍に対するカテーテル治療 (カテーテルアブレーション)

カテーテルアブレーションの進歩により不整脈は根治可能な病気となっています。近年は不整脈の3DマッピングシステムであるCARTO3を駆使して頻拍の根治を目指して治療に当たっています。心房細動は日常臨床で最も良く見られる不整脈です。1998年に心房細動の多くが肺静脈起源であることが分かり、肺静脈隔離術が考案されました。当センターでも積極的に心房細動に対するカテーテルアブレーションを行っております。

### 心臓植え込みデバイス

これまでペースメーカー植え込み後はMRI検査を受けることは出来ませんでした。昨年より植え込み後もMRI検査を受けることが可能なペースメーカーが発売され、多くの症例で使用しています。

当センターは心不全患者を多く診療してきた実績が有ります。心不全患者で問題となる突然死を防ぐ植え込み型除細動器（ICD）や心不全に対する心臓再同期療法も行っています。

当科では地域の先生方と連携を密にとりながら患者の治療に当たりたいと思っています。不整脈の発作時はいかなるときも救急での受診が可能です。治療を行い退院後はかかりつけ医の先生方に日常の診療をお願いしつつ、数ヶ月ごとに当科でもフォローさせていただきます。当センターの理念である「急性期医療・高度先進医療」のため、何卒御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

心臓血管センター不整脈科部長 古川善郎

### 【～地域の医療機関の皆様へ～ C型慢性肝炎の新しい治療が始まります！】

C型慢性肝炎は無症状に経過し肝硬変や肝臓に進展する病気です。

約20年前からインターフェロンを中心としたC型肝炎ウイルス（HCV）に対する抗ウイルス治療が行われるようになり、HCVが排除された方では肝臓の発症が抑制されます。当初のインターフェロン単独治療では難治性C型肝炎（血清グループ1型、高ウイルス量）に対するウイルス学的著効率が5%程度であったものが、ペグインターフェロンとリバビリンの2剤併用で50%と治療効果が進歩しています。さらに近年の世界的なDAA(Direct-acting Antivirus Agent)としての抗ウイルス剤開発により難治性C型肝炎でも90%の著効が得られるようになりました。

2011年11月から保険使用可能となったプロテアーゼ阻害剤であるテラプレビルとペグインターフェロン+リバビリンの3剤併用に続き、昨秋には第2世代プロテアーゼ阻害剤のシメプレビルが承認され3剤併用療法として2013年12月から使用可能です。本治療法は副作用がテラプレビルに比べ少なく、従来のペグインターフェロン+リバビリン2剤併用と同程度とされています。開発治験では90%の著効率が報告されておりC型肝炎治療として画期的と期待されています。一方でC型肝炎がありながら検査を受けるチャンスがなく、わからないまま肝臓病が進行してしまう方がおられます。こういった方がないようにC型肝炎の検査を積極的に行い、肝硬変や肝臓にならないよう治療チャンスを作ることが医師の使命と考えます。

新しい治療はインターフェロン地域医療連携で行うこともできます。地域でC型肝炎を囲い込み一人でも肝臓になる人が少なくなればと考えております。

ご協力ご支援をお願い申し上げます。

消化器内科主任部長 井上敦雄

### 【エコロジーガーデン事業を実施中です】

当センターでは、10月から施設内に観葉植物を配置することにより、患者さんやその家族の方々などに緑化によるやすらぎの空間を提供するエコロジーガーデンと

名付けた院内緑化事業を行っています。配置する植物は CO<sup>2</sup> (二酸化炭素) や VOC (揮発性有機化合物) の吸収にすぐれており、土壌は消臭効果の高い活性炭や石灰岩を利用するなど空気浄化能力も備えており、鉢植えにして主に本館 1 階のやすらぎセンターや 2 階の病院ギャラリー付近を中心に正面玄関口や病棟に向かう廊下にも配置しています。なお、この事業はエコロジーガーデン事業の趣旨に賛同するグリーンオフィシャルスポンサーの応援を頂いて実施しています。

当センターでは、今後も来院される皆様方に少しでも心地よい環境を提供するため配置箇所の増加などに努めてまいります。

### 【分娩入院についての紹介動画を作成しました—産婦人科—】

当センターでの分娩について紹介する産婦人科の動画を新たに作成いたしました。分娩前から出産後までのお母さんへの支援や母親教室の様子などを分かりやすくお知らせしています。ぜひ一度ご覧ください。

アクセスは、当センターホームページ (<http://www.gh.opho.jp/>) 産婦人科まで。携帯サイトでも紹介動画をご用意しています (<http://www.gh.opho.jp/m/index.php>)。た

### 【無痛分娩（和痛分娩）を開始しました —産婦人科—】

当センターではこれまでから医学的に必要性のある方にのみ無痛分娩を行ってまいりましたが、このたび、妊婦さん自身のご希望による無痛分娩を開始いたしました。

当センターでは、より安全で、よいお産をしていただくために、産科医、助産師、新生児科医だけでなく、麻酔科をはじめとして、各診療科の協力を得て、妊娠分娩の管理にあたっております。妊婦さん自身が考えられるよりよいお産のために我々が何をできるかについて、是非ご相談ください。

無痛分娩は、硬膜外麻酔法によって分娩に伴う痛みを和らげる方法です。和痛分娩とも言い、分娩に伴う痛みがまったくなくなるわけではありませんが、痛みを大幅に和らげながら経膈分娩を行う方法です。

硬膜外麻酔法は、細くて柔らかいチューブを背中から腰の脊髄近く（硬膜外腔）に入れて、そこから鎮痛薬を少量ずつ注入することで行います。神経の近くに鎮痛薬を入れることから、使用する鎮痛薬の量は少量で、赤ちゃんに対する影響はほとんどありません。

日本ではまだ一般的とはいえませんが、欧米では広く実施されており、アメリカやフランスでは、全分娩の約 6 割が硬膜外無痛分娩によって行われています。

これまで、無痛分娩を希望される方でも、費用の面で不安を感じられる方が多かったことを考慮して、当センターでは、無痛分娩の分娩費用を約 53 万円の定額制としておりますので、安心してご相談ください。ただし、保険診療の適応となるような医学的処置を行った場合を除きます。

## 【シリコンバッグによる乳房再建が保険適用になりました】

昨年7月より、従来自費診療であったシリコンバッグによる乳房再建が保険適用になりました。

今回、皮膚を伸ばす目的で挿入する「ティッシュ・エクスパンダー」というシリコン製のバッグと、最終的に乳房の形をつくる「ブレストシリコンバッグ」というゲル入りシリコンバッグの両方が保険用医療機器として認可されました。

それにより、従来は自費でしか治療できなかったシリコンバッグによる乳房再建が入院費や手術代を含め、すべて保険診療でまかなえる様になりました。(但し、一部の形のシリコンバッグは保険適応外)

自家組織による乳房再建と比べると、自分の体を傷つけることなく再建が可能で、万が一の場合に抜去することも可能です。

当センターでは、シリコンバッグによる乳房再建以外にも患者さんのニーズに合わせた多種多様な再建法が選択していただけるようなシステムを取っておりますので、是非お気軽にご相談ください。

形成外科主任部長 藤川昌和

## 【「医療相談」コールセンターのご利用を ー地域医療連携室ー】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談を、専門の看護師が電話でのご相談に応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号は 06-6692-2800 (専用電話回線)

06-6692-2801 (専用電話回線)

相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

相談対象 医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等

相談員 看護師

## 【診察予約変更センター 9診療科において診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の9診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非、積極的にご活用ください。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

(電話番号) 06-6692-1201 (代表)にダイヤルして

「予約変更センター」と言ってください。

(受付時間) 午後3時～午後5時(平日のみ)

(対象診療科) 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病代謝内科

皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科  
神経内科 脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

### 【入院治療費や外来での検査費用の概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターにおきましては、入院患者さんへのサポートを総合的・集約的に行う入院センター（やすらぎセンター）におきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

また、CT、MRI、RI、エコー検査など検査費用の概算を医療・福祉相談コーナーなどでお知らせするサービスも行っていきます。

### 今月の催し

#### 【第 20 回万代・夢寄席 ～三代目桂春団治一門会～】

笑いをお届けしてとうとう 20 回、今年もみなさんに楽しい時をお届けします！

日 時 2 月 13 日（木） 午後 2 時～  
場 所 本館 3 階 講堂  
出 演 落語家 桂 壺之輔  
桂 福丸  
入 場 無料

#### 【すこやかセミナー「クローン病と潰瘍性大腸炎ってどんな病気」】

日 時 2 月 13 日（木） 午後 2 時～ 3 時  
場 所 本館 3 階 保健教室  
講 師 消化器内科診療主任 澁川成弘  
参加費 無料

#### 【相愛大学連携 第 34 回外来糖尿病教室

##### 知って得する！ 糖尿病との付き合い方】

日 時 2 月 19 日（水） 午後 2 時～  
場 所 本館 1 階 アトリウム  
内 容 良好な血糖コントロールの第一歩～体重と食事～  
(糖尿病代謝内科医師 片岡隆太郎)  
感染対策とシックデイ (糖尿病看護認定看護師 後藤博美)  
中食・外食もバランスを考えて (相愛大学人間発達学部  
発達栄養学科教授 角谷 勲)  
参加費 無料



### 【すこやかセミナー「末梢血管疾患について～全身の動脈硬化症を知る～」】

日 時 2月28日(金) 午前11時～12時  
場 所 本館3階 保健教室  
講 師 心臓内科診療主任 岩崎祐介  
参加費 無料

### 【第11回病院ギャラリー企画展 「京の美を巡る」

#### 岩宮武二写真展 “日本の美 京いろとかたちシリーズより” 】

岩宮武二は1920年に鳥取県米子市に生まれ89年に没するまで、「今を生きる」を座右の銘に、今、現在生きていることを意識し、過去から現在、未来へと続いていく事象や形を豊かな感性で見つめる写真家として活動しました。

今回は第9回、第10回に引き続き岩宮武二写真展の第3弾として、京の美を巡ると称して岩宮の独特のカメラワークで切り取られた京都の名庭の数々を展示しています。

開催期間 2013年12月24日(火)～2014年4月25日(金)

展示場所 本館2階 病院ギャラリー

展示作品 京いろとかたちシリーズ 26枚(銀閣寺、大徳寺塔頭ほか)

※ 本企画展は、大阪府立江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施しています。

### 【(予告)すこやかセミナー「血管内レーザーによる下肢静脈瘤の治療」】

日 時 3月13日(木) 午後2時～3時  
場 所 本館3階 保健教室  
講 師 形成外科診療主任 田島宏樹  
参加費 無料

### 【(予告)相愛大学連携 第35回外来糖尿病教室

#### 知って得する！ 糖尿病との付き合い方】

日 時 3月19日(水) 午後2時～  
場 所 本館1階 アトリウム  
内 容 境界型糖尿病の話 (糖尿病代謝内科医師 藤田洋平)  
糖尿病の飲み薬 (薬局薬剤師 天野二愉香)  
野菜を食べよう (栄養管理室管理栄養士 笠井香織)  
参加費 無料

## 【(予告) 第31回相愛大学連携コンサート

～春の優雅なギターの音色に心預けてみませんか～】

日 時 3月27日(木) 午後2時～  
場 所 本館3階 講堂  
出 演 ギター演奏 中西勇介  
宇田奈津美  
入場料 無料

## 【(予告) すこやかセミナー「ほくろのように見えるガン」】

日 時 3月28日(金) 午前11時～12時  
場 所 本館3階 保健教室  
講 師 皮膚科部長 中島武之  
参加費 無料

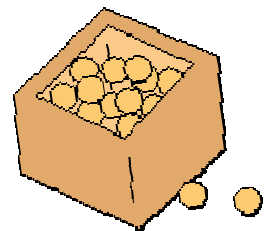
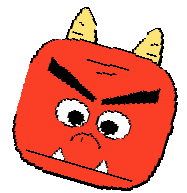
### Topics

## 【管理栄養士のコーナー】 ～ちょっとおいしい話～



お正月に食べ過ぎてしまって体が重い、なんて方もいらっしゃるのではないのでしょうか？2月の行事と言えば節分です。運動も兼ねて元気よく豆まきした後は、余った大豆を美味しくいただきましょう。今回はお肉の半分を大豆に変えた和風ハンバーグをご紹介します。

《材料》	(1人分)	(2人分)
合い挽き肉	30g	60g
煎り大豆	15g	30g
玉ねぎ	1/8個	1/4個
パン粉	大さじ1/2	大さじ1
牛乳	大さじ1/2	大さじ1
卵	1/4個	1/2個
味噌	小さじ1/4	小さじ1/2
サラダ油	大さじ1/2	大さじ1
大葉	1枚	2枚
大根おろし	大さじ1	大さじ2
ポン酢	大さじ1/4	大さじ1/2



(1人前) エネルギー:193kcal たんぱく質 13.3 : g 脂質:12.4g 食塩相当量 : 0.6g

- ① 煎り大豆を一晩水に漬けておく（茹で大豆を使用する場合は1人分30g）。
- ② 玉ねぎはみじん切りにして電子レンジで3分加熱し、冷ましておく。
- ③ 戻した大豆と牛乳をミキサーにかけ、パン粉と合わせておく。
- ④ 玉ねぎ・③・合い挽き肉・卵・味噌をボウルで混ぜ合わせ、捏ねる。
- ⑤ よく油を熱したフライパンでハンバーグの両面を強火でサッと焼き、焼き色が付いたら水(分量外)を加えて中火で蒸し焼きにする。
- ⑥ 大葉、大根おろしを盛りつけてポン酢をかければできあがり。

豆まきに使う煎り大豆は、一晩水に浸すと茹で大豆と同じように扱うことができます。大豆は食物繊維が豊富で、すべてお肉で作ったハンバーグに比べ約5倍の食物繊維が含まれます。今回は大葉とおろしで和風ハンバーグにしましたが、ケチャップやデミグラスソースなどと合わせて洋風にもアレンジしてみてもいいでしょう。

栄養管理室 管理栄養士 隈元理香

### 今月のひまわりさん

各種窓口でセンターご利用のお手伝いをさせていただいている医事事務委託会社ソラストの窓口担当を紹介させていただくコーナーです。

#### 【(新) 公費担当 森田さんの巻】

私は、公費負担医療に関する業務を担当しています。公費負担医療とは、患者様が治療を受けられた際の医療費の全額または一部が国や地方自治体により補助される制度です。私は、患者様にこの公費負担医療制度の内容をご説明し、患者様が申請する公費負担医療の申請書類作成をしています。

公費と一言と言っても、自立支援医療（更生医療や精神）・特定疾患・小児慢性特定疾患・医療扶助（生活保護）・結核など、たくさんの種類があります。

私の具体的な業務としては医療扶助（生活保護）を担当し、生活保護の患者様の保険証となる医療券の発行に必要な意見書の作成を医師に依頼することです。また、患者様に代わって役所に医療券の請求、受給者番号の問い合わせなども行っています。診療報酬の請求には当センターの様々な部署が関わり、請求期日に向けて業務を進めていきます。その中の一人として医療扶助の患者様が安心して円滑に受診していただけるよう迅速な対応を心がけています。

また、医療・福祉相談の窓口へ訪ねてこられる患者様への対応も大切な業務の一つです。患者様のご相談内容に応じて的確に対応し、常に笑顔で接することを心がけています。窓口に来られた時の不安な表情が、帰られる時にホッと安心した表情になった時は、この仕事をしていて一番うれしく感じる瞬間です。

窓口対応や請求業務には難しいこともいろいろありますが、日々勉強をして多くの知識を吸収し、患者様にここに来てよかったと感じてもらえるようなスタッフになりたいと思います。

### その他のお知らせ

#### 【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。

これらの金融機関はJ-Debitに加盟していますので、キャッシュカードに自動的にデビット機能が付与されているからです。(ただし、キャッシュカードでお支払いいただいた場合は即座に口座から引き落とされることとなるため、口座に引き落とし金額以上の残高が必要ですのでご注意ください。)

このため、医療費の支払いのための現金を持たなくても、キャッシュカードさえあればお支払いが可能です。

また、引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます

#### 【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込み」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。